

令和6年5月23日

まちづくり委員会資料

等々力緑地再編整備事業について

建設緑政局

【等々力緑地】再編整備事業について

1 概 要

等々力緑地は、緑と水のうるおいの空間を有し、良好な都市環境を形成するための重要な役割を担うとともに、多数の運動施設、市民の憩いの場など多面的な機能を有する市民に親しまれている総合公園です。

一方、施設の老朽化や防災対策の充実、社会環境の変化への対応など、新たな課題が顕在化していました。

このため、令和4年2月に等々力緑地再編整備実施計画を改定し、令和5年4月からPFI法に基づく事業手法を活用し再編整備と管理運営を一体の事業とした等々力緑地再編整備・運営等事業を開始しました。

現在、再編整備に関して、整備内容等の基本設計を進めています。

＜事業契約概要＞

事業名	等々力緑地再編整備・運営等事業
事業区域面積	約36.6ha（下水処理施設上部区域等を追加整備し、約43.7haとする予定）
事業内容	統括管理業務、整備業務、維持管理業務、運営業務、自主事業
契約の相手方	川崎とどろきパーク株式会社
契約期間	令和5年3月31日～令和35年3月31日
契約金額	63,255,972,382円（消費税及び地方消費税を含む）
整備対象施設	球技専用スタジアム、（新）陸上競技場、（新）とどろきアリーナ、スポーツセンター、プール、ストリートスポーツパーク、アクティビティループ（園路）、キッズパーク（子どもの遊び場）、インクルーシブパーク、芝生広場、親水空間（レインガーデン等）、植栽、駐車場、自由提案施設（飲食、物販等）等

2 検討経緯

令和 5 年	4 月	再編整備に向けた基本設計に着手 各種調査、法令・条例に基づく協議・検討を開始
	5 月	オープンハウス型事業説明会開催 環境配慮計画書説明会開催
	8 月	整備対象施設利用団体等へのヒアリングを開始 ※継続中 (スポーツ関係団体、町内会、小中学校校長会 等 計 15団体)
令和 6 年	3 月	外周園路整備に関する説明会開催 (外周園路沿道町内会を対象)
現 在		これまでにいただいたご意見・ご要望、協議等踏まえた検討状況を整理

基本設計取りまとめ に向け

今後、整理した検討状況について **事業説明会・施設利用団体説明・ヒアリング** 等 を実施予定

3 今後の予定

令和 6 年 6 月	事業説明会開催 施設利用団体説明・ヒアリング等を実施
秋頃	環境影響評価準備書説明会・都市計画素案説明会 事業説明会開催（基本設計取りまとめ報告等） 実施設計に着手
）（随時）	工事説明会開催
令和 7 年夏前後	再編整備工事着手（予定）
令和 12 年 3 月	再編整備工事完了（予定）

今後の主な検討事項

ヒアリング等の結果 の 基本設計への 反映 について

再編整備 工事スケジュール について

再編整備 工事期間の施設利用 について

4 検討状況

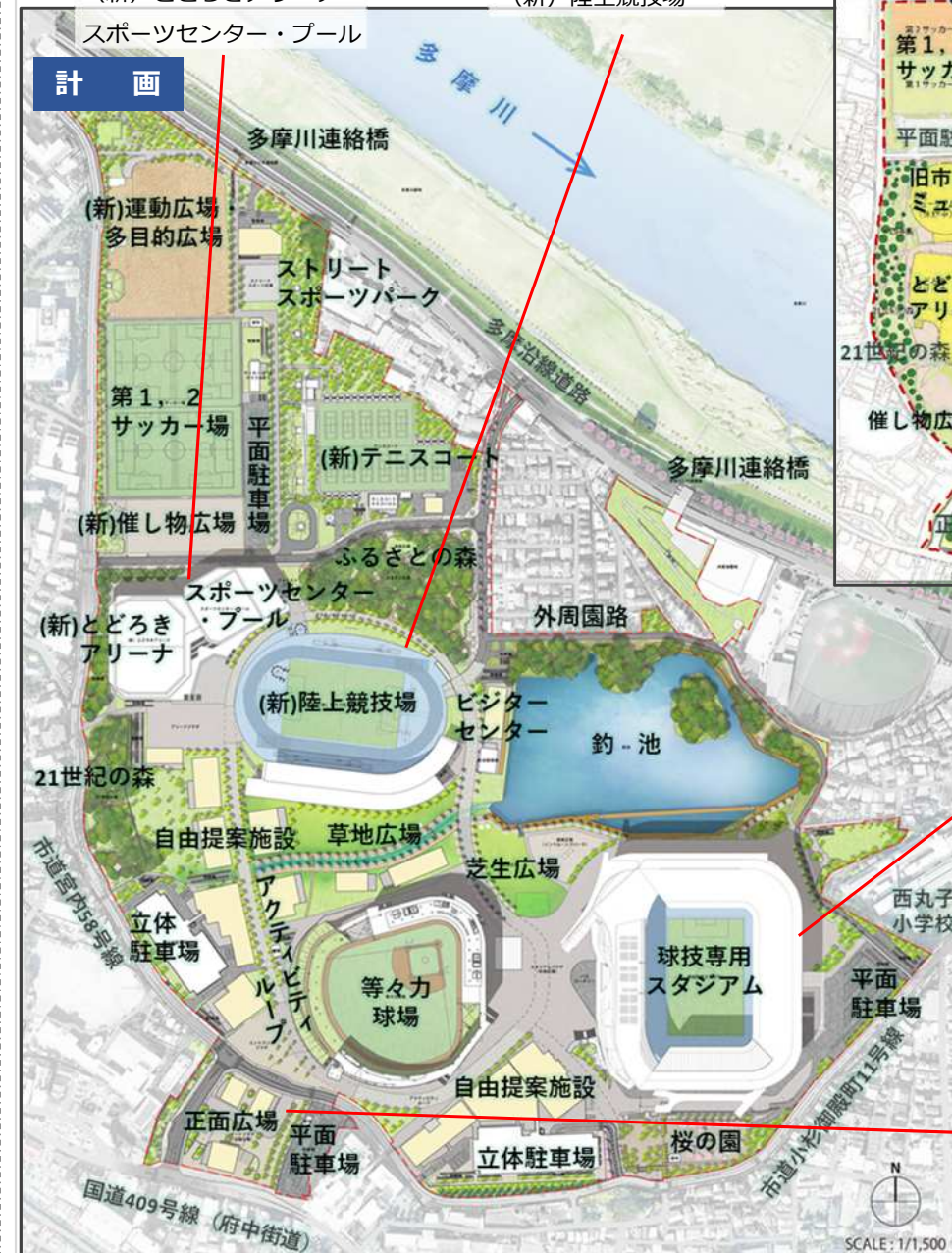
※令和6年4月時点の検討状況



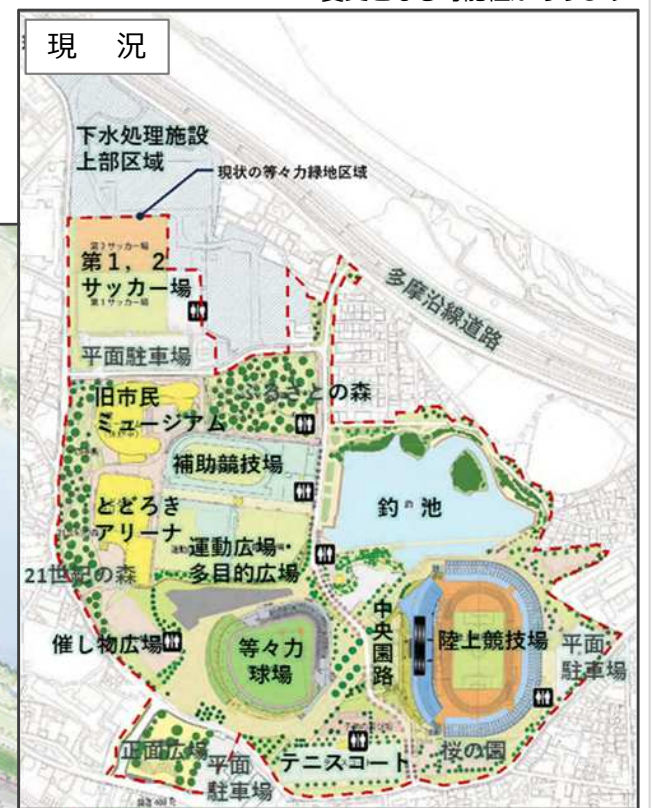
(新) とどろきアリーナ・



(新) 陸上競技場



現況



※今後の調査設計の進捗に伴い
変更となる可能性があります



球技専用スタジアム



ゲートプラザ（正面広場）

5 今後のスケジュール

※今後の調査設計の進捗に伴い、変更となる可能性があります

内容 / 年度	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	～	R34 (2052)
環境影響評価手続き									
調査・設計									
整備工事（建築物等）									
整備工事（公園基盤）									
維持管理・運営									

【等々力緑地】再編整備事業 について（主な施設）

6 球技専用スタジアム

※現等々力陸上競技場（収容人数 約27,000人）

感動、賑わい、誇りを創出する「Emotional Stadium」

- ・観客と競技者の一体感を創出するスタンドにより新たな観戦環境・価値を提供
- ・どこでも試合を楽しめる観戦環境の提供



施設全景

- ・観客と競技者の感動と熱狂を喚起するスタジアム
- ・人々の賑わいと親しみを醸成する公園に開かれたスタジアム
- ・クラブ、地域、人々の誇りを共に育むスタジアム

【施設諸元】

- ・収容人数 約35,000人
- ・建築面積 約28,000㎡
- ・延床面積 約68,000㎡



フィールド目線が体感できるゼロタッチ席



フィールドとつながるメインコンコース

8 広場・基盤

多様な活動と憩いの空間を創出し、自然に多様な活動にふれる、目にする機会を創出



主要動線「アクティビティループ」

- ・主要動線『アクティビティループ』を整備し、広場『プラザ』、施設、園路を計画し、ネットワークを形成
- ・現状ではない開放的な芝生広場・草地広場や、地域に少ない大型遊具・インクルーシブパークを整備
- ・外周部やまとまった緑を可能な限り保全し、新たに生物多様性に配慮した良好な緑地環境を創出



アリーナ前の広場「プラザ」



芝生広場・大型遊具

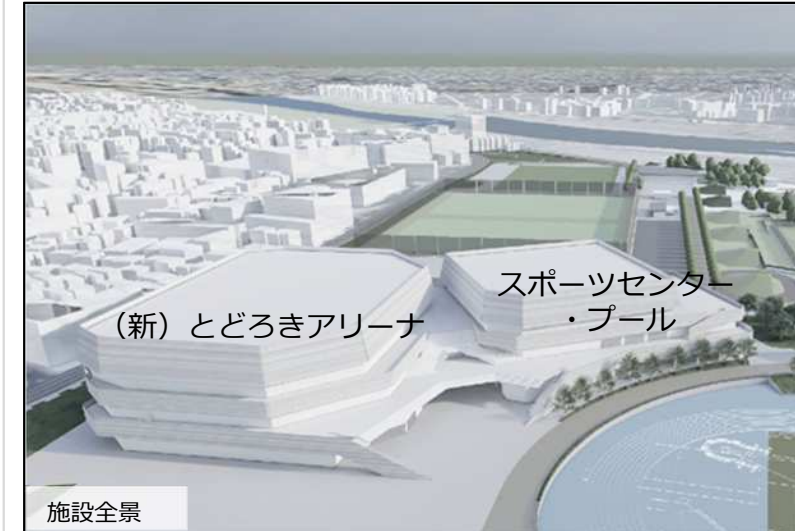


草地広場

7 （新）とどろきアリーナ

歴史・賑わい・想いをつなぐ「れんそう」のアリーナ

- ・様々なイベントに転換可能なフレキシブルなアリーナ
- ・緑地を彩るスイッチアリーナ



施設全景

- ・歴史をつなぐ「連層」のアリーナ
- ・賑わいをつなぐ「連奏」のアリーナ
- ・想いをつなぐ「連想」のアリーナ

【施設諸元：メインアリーナ】

- ・収容人数 約5,000人
(うち 固定席 約3,000席)
- ・建築面積 約12,000㎡
- ・延床面積 約21,000㎡
- ※スポーツセンター、プールを合築



スポーツ利用時の観客席のイメージ

スポーツ興行とコンサート、展示会利用等を両立するU字形状のアリーナ
(可変的な観客席計画)

9 自由提案施設

多様なニーズへの対応と新たな公園時間の提供



正面広場

事業者が建物を建設し、利便性の向上や賑わいの創出などに資する様々な用途を導入し、多様なニーズへの対応と新たな公園時間を提供

【想定用途】

飲食店舗、食物販・物販店舗、サービス店舗



草地広場付近（野球場北側）



(新) 陸上競技場・野球場周辺